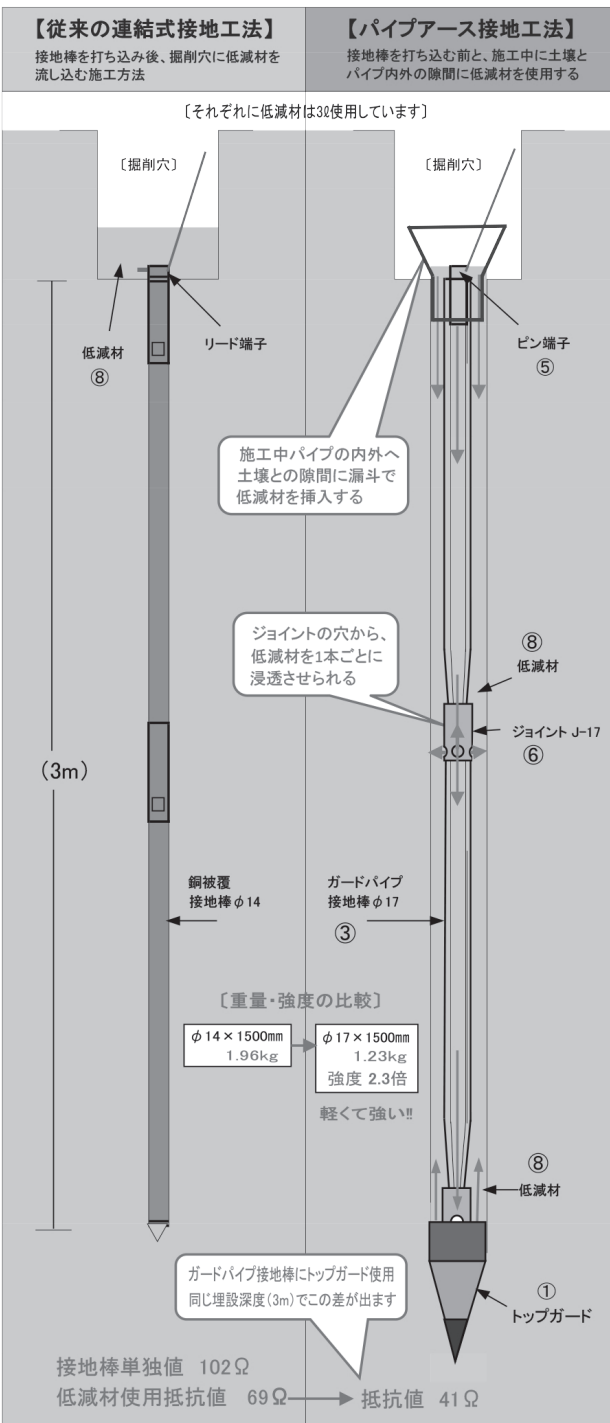


軽い・強い・安い・三拍子揃ったパイプ式アース棒!!

パイプアースシステム

従来のアース棒よりも3割以上も軽く、2.3倍強い折れることが無い安価なパイプ式アース棒と、先端に取り付けるトップガード部材、それに粉塵吸引の危険が無いジェル状低減材を使用することで、安全に作業ができるだけでなくパイプ内・外から低減材が地中深く浸透するので、低減効果が増大して大幅なコスト削減に繋がります。

〔棒電極接地工法の比較〕



● 上記の抵抗値は同一場所、同一深度での施工データに基づくもので、施工場所によって抵抗値はこの限りではありません。

〔パイプアース接地工法が選ばれる理由〕

1. 軽くて強い!!

ガードパイプ接地棒は、軽いのに曲がりにくくて折れないので、固い地盤に威力を発揮します。

2. 安価で安心!!

ガードパイプ接地棒は、ノンクロムの高耐食亜鉛メッキなので安価で安心な環境に優しい製品です。

3. 簡単で安全!!

ジェル状低減材「イージェル」は、水との配合が必要が無いのに、開栓してすぐに使用する事ができて、粉塵の吸引の危険が無いため、作業性・安全性に優れています。

4. 効果が抜群!!

パイプ内・外に注入された低減材イージェルを、トップガード部材と穴あきジョイントで、満遍なく放出・流入でき、優れた低減効果が得られます。

● ガードパイプ接地棒は、日本製鉄の高耐食溶融メッキ製で、ノンクロムのZAM鋼板をパイプ加工して使用しています。

〔パイプアース接地工法・作業手順〕

- 掘削穴に、ガードパイプ接地棒打ち込み用の下穴をバール等で開ける。(地下埋設物確認と打ち込み準備のため)
- ガードパイプの先端に、トップガードを装着して下穴に挿入する。
- 低減材「イージェル」を開栓して、ガードパイプ接地棒の打ち込み箇所へ投入。そしてトップガードを取付ける事で生じる、接地棒と土壌の隙間に打ち込み前に、漏斗をセットして流し込む。
※ ガードパイプ接地棒1本に対して1ℓ使用。
- ガードパイプ接地棒の上部に、打設ピンを取り付けて打ち込みを開始する。
※ 施工中に、ガードパイプ接地棒と土壌の隙間に漏斗で低減材を注ぎ込むと、打撃振動で効率よく浸透させる事がより可能です。
- 1本目を打ち終わった後、低減材をパイプの内部と土壌の隙間に補充して測定する。規定値に未到達なら、2本目の接地棒を継ぎ足して打ち込む。更に継ぎ足す場合も、前項同様に低減材を使用しながら順次、ガードパイプ接地棒を継ぎ足して打ち込む。
- 打ち込みが終わったら、低減材をガードパイプ接地棒の内部及び土壌の隙間と接地極全般に補充して端子を打ち込み、対象物の接地線と接続して完了です。

※ 低減材を、漏斗使用で如何に土壌と接地棒の隙間に挿入するかが大切となります。
※ パイプジョイントを使用すると、低減材の効果をより良く発揮できます。